

未来 mirai

一人一人が夢をもち
未来を生きる力のある子



琉球大学教育学部附属小学校

学校だより 第9号

発行 令和6年11月20日(水)

文責 校長 石川 博久

11月23日 第40回公開研究発表会 子供の成長のための研究実践を発信！ 学習過程を通して 教師と子供が 共に学ぶ

朝夕の涼しさに、秋を感じられるようになりましたが、保護者の皆様、いかがお過ごしでしょうか。季節の変わり目、子供たちの健康管理はもちろんのこと、保護者の皆様におかれましても体調には十分気を付けられてください。

10月26日に実施した「体育学習フェスティバル」から早一ヶ月が経とうとしています。改めまして、子供たちへの激励、運営へのご理解とご協力に感謝申し上げます。その後、子供たちは、先生方や仲間と活動し学んだことを生かし、日常の学習において主体的に向かう姿や、学級活動における当番活動や係活動などで、互いに支え合う姿が多く見られるようになってきているようです。大変嬉しく思います。経験し学び取ったことを、次の活動に生かす、その実践の積み重ねが子供たちを成長させていくのだと思います。その学びをつなげるのが、先生方です。ただ、教育活動は教師だけでは充実させることはできません。子供たちの意欲と保護者の皆様のご支援が不可欠です。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

さて、11月23日土曜日は、本校の一番の使命である教育研究の発表会です。4月から取り組んできたことを踏まえた研究実践を県内外の先生方に公開し、参観してもらいよりよい実践に向けたご意見をいただき、日々の授業改善につなげていきます。先生方は、子供たちの実態を踏まえ、子供たちの成長のためにより効果的な実践を行っていくのです。先生方は常に子供たちの変容を見取りながら、子供たち一人一人に学習活動を通して資質・能力（生きて働く力）が身に付くよう指導・支援を行っています。

今回の研究発表会は「第40回」と記念大会にもなっていますので、前文部科学省教科調査官であった渋谷一典先生（現在：北海道教育大学教職大学院教授）の記念講演を設定し、本校の研究の取組のよさと改善点をご指摘いただき、今後、子供たちのためのにどのようによりよい実践を学校全体でつくっていけばいいのかご助言・ご指導をいただきたいと考えております。11月20日現在、参加申し込みをされた先生方は、350人を超えております。公開授業・授業研究会・記念講演を通して、本校の日常の教育研究の取組を多くの先生方に伝え、その実践のよさが、県内の公立小学校や、県外の附属小学校の実践として広げられることを願います。

当日は、「公開授業Ⅰの学級」、「公開授業Ⅱの学級」、「公開授業Ⅰ・Ⅱの学級」があります。そのため、登下校の時刻が学級によって違います。また、公開授業Ⅰ・Ⅱに参加する学級（3-1、3-2、3-3、4-2、6-3）の子供たちは、軽食（おにぎり等）の準備をお願いいたします。保護者の皆様、ご協力をよろしくお願いいたします。当日の日程・下校時刻等に関する詳細は、11月1日に配布された「『第40回公開研究発表会』の実施に伴う下校時刻の変更について」のお手紙や、学校ホームページで再度ご確認ください。

また、11月22日（金）の前日準備 及び、11月23日（土）当日の対応でご協力してくださる保護者の皆様、公私ともに忙しい中ですが、どうぞよろしくお願いいたします。

11月23日も、「情熱」と「愛情」をもって、子供たちの「夢」や「幸せ」につなげられる実践をめざして、先生方は子供たちと共に全力で頑張ります。保護者の皆様、子供たちと先生方の応援をよろしくお願いいたします。



1年生
比較して
考える



5年生 データを読み取る

4年生 主体的に関わる

